

2008年5月27日
スカパーJSAT 株式会社

緊急地震速報に係わる京浜急行電鉄列車停止の原因と 再発防止策についてのお知らせ

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：仁藤 雅夫）の子会社である宇宙通信株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：永井 裕）は、本日、添付の通り緊急地震速報に係わる京浜急行電鉄列車停止の原因と再発防止策について発表しましたので、お知らせいたします。

2008年5月27日
宇宙通信株式会社

緊急地震速報に係わる京浜急行電鉄列車停止の原因と再発防止策について

宇宙通信株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：永井 裕）は、2008年5月12日に発生した当社の緊急地震速報配信サービスに係わる京浜急行電鉄の列車停止につき、下記の通り、調査結果および再発防止策をご報告します。

記

1. 概要

2008年5月12日 午前10時10分頃、京浜急行電鉄様において、当社が配信している緊急地震速報の試験用データ（以下、テスト報）が誤って実際の緊急地震速報として受信・処理され、一時列車の運転が見合わされました。地震発生的事实がないことが確認されたため、2分後に運転が再開されました。当社は、他に同様のトラブルが発生していないことから、受信・処理システムに不具合があった可能性があるとして原因を調査しております。

2. 原因

当社は、緊急地震速報とあわせて、受信機器動作確認のためのテスト報を別のチャンネルで常時配信しております。同日 午前10時8分頃、当社スーパーバード茨城ネットワーク管制センターにおいて、テスト報のフォーマットを変更しました。

また、京浜急行電鉄様の総合司令所に設置された受信装置（当社納入装置）のテスト報設定を、OFF設定であるべきところをON設定としていたことが確認されました。その為、テスト報のフォーマットを変更した際、当該受信装置からテスト報が流され、実際の緊急地震速報と同様の処理が行われてしまいました。

3. 再発防止策

受信装置のファームウェアを最新版にアップデートすることを検討するとともに、受信装置の設置及び取扱手順を改訂することで、テスト報のON/OFFの設定確認を確実に実行・記録できるように改善します。

以上